（別紙４（２））

事業所名　グループホーム　ピオニー

作成日：　平成　２３年3月３１日

# 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 6 | ○身体拘束をしないケアの実践／安全を考慮して階段とエレベーターの利用を制限している。 | 常時（夜間を除く）、階段室のドアには鍵をかけず、エレベーターのスイッチをONにしておく。 | 職員の見守り習慣の徹底と、外出希望に職員がとことんつきあうことを実践する。 | 1ヶ月 |
| 2 | 23 | ○思いや意向の把握／生活のリズムあるいは流れが施設側の用意したプログラムに固定している。それが果たして入居者一人一人に会っているか検証したことがない。 | 入居者一人一人の生活のリズムや日課を、介護支援計画に沿って作ってみる。それを基にして1日、1ヶ月、1年の「ピオニーの生活」を作る。 | 入居者1～2人に対して職員1人の割合で担当制を実施し、担当者がフェイスシートを作成する。その後、支援体制との調整を含めた検討を行う。 | 6ヶ月 |
| 3 | 49 | ○日常的な外出支援／週2回の買い物外出や不定期なドライブなどでは外出機会が不足している。 | 併設事業所の保有自動車にピオニー専用利用時間帯を確保するとともに、近隣へ出かけるための外出用車いす等、移動用具を確保する。 | 車両利用連絡板を設ける。また、ピオニー周囲５００m以内の移動用具としては何が適切かを検討する。 | 3ヶ月 |
| 4 | 35 | ○災害対策／自家出火や類焼などの火災、水害、地震への訓練および対策備品が不足している。 | 具体的状況設定による対応訓練の実施と備品の充実。 | 2ヶ月に1回の訓練計画策定、および災害別対応マニュアルの策定。そして対応する備品のリストアップ。 | 3ヶ月 |
| 5 | 29 | ○地域資源との協働／地域資源の利用、開拓まではできていない。 | 地域資源との双方向交流 | 幼稚園、小学校の園児や児童を招いて敬老会や手工芸発表会を開催する。また、昨年実施の湘風祭を開催して地域の方に見ていただく。 | １２ヶ月 |

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。